

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公開番号】特開2011-154443(P2011-154443A)

【公開日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2011-032

【出願番号】特願2010-14122(P2010-14122)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

G 0 6 K 9/62 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/041 3 8 0 Q

G 0 6 F 3/041 3 5 0 E

G 0 6 K 9/62 G

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月2日(2012.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筆記データを含むデータを解析する情報処理システムであって、
デジタルペンを含む情報入力部と、
前記情報入力部によって入力されたデータを収集・格納する記憶部と、
前記データを解析するデータ処理部と、
収集・格納され、処理された前記データを表示する表示部を備え、
前記データ処理部は、前記筆記データと情報機器に直接入力される入力データとを時系列に管理し、前記筆記データと前記入力データの各入力領域を参照することによって、前記筆記データと前記入力データとの関連を推定し、その推定結果に基づき、前記筆記データと前記入力データを前記表示部に表示する、
ことを特徴とする情報処理システム。

【請求項 2】

前記データ処理部は、前記筆記データと前記入力データとを時系列に前記記憶部に格納し、前記筆記データと前記入力データとの時間的関係を解析・抽出する、ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 3】

前記データ処理部は、前記筆記データと前記入力データとの時間的関係と共に、前記筆記データが書き込まれる用紙フォーマットにおける前記入力領域と前記入力データの前記入力領域との相関関係から、前記筆記データと前記入力データの内容類似度を推定する、ことを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理システム。

【請求項 4】

前記データ処理部は、前記表示部に前記入力データを表示する場合、前記内容類似度の高い前記筆記データを前記表示部に表示する、
ことを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理システム。

【請求項 5】

前記データ処理部は、前記内容類似度に基づいて、前記入力データの入力量と前記筆記デ

ータの筆記量から、前記入力データの前記入力領域に対応する前記筆記量の相対的な量を算出する、

ことを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理システム。

【請求項 6】

前記データ処理部は、前記入力データの前記入力領域に対応する前記筆記量と、当該入力領域への入力時間に基づいて、前記筆記データの作成についての指導データを前記表示部に表示する、

ことを特徴とする請求項 5 に記載の情報処理システム。

【請求項 7】

所定のフォーマット上に入力される筆記データを含むデータを解析する情報処理システムであって、

入力された前記筆記データを格納する記憶部と、前記データを解析処理し、処理結果を出力部に出力するよう制御する処理部とを備え、

前記処理部は、

格納された前記筆記データと、前記筆記データ以外の入力データの入力時間と、前記筆記データと前記入力データが入力される、前記フォーマット上の各入力領域とを参照することによって、前記筆記データと前記入力データとの関連を推定し、推定結果に基づいて、前記筆記データと前記入力データとを前記出力部に出力する、

ことを特徴とする情報処理システム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の情報処理システムであって、

前記処理部は、前記筆記データと前記入力データを前記入力時間に基づき時系列的に前記記憶部に格納し、

前記処理部は、前記記憶部に格納した前記筆記データと前記入力データの前記入力時間に基づき、前記データを解析処理する、

ことを特徴とする情報処理システム。

【請求項 9】

所定のフォーマット上に入力される筆記データを含むデータを解析する処理部と、入力された前記筆記データを格納する記憶部とを備えた情報処理装置の前記処理部で実行されるプログラムであって、

前記処理部を、

格納された前記筆記データと前記筆記データ以外の入力データの入力時間と、前記筆記データと前記入力データが入力される、前記フォーマット上の各入力領域とを参照して、前記筆記データと前記入力データとの関連を推定し、

推定結果に基づいて、前記筆記データと関連する前記入力データとを出力する、よう動作させる、

ことを特徴とするプログラム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のプログラムであって、

前記処理部を、前記筆記データと前記入力データを前記入力時間に基づき時系列的に前記記憶部に格納し、

前記記憶部に格納した前記筆記データと前記入力データの前記入力時間に基づき、解析処理するよう動作させる、

ことを特徴とするプログラム。